



# 花さき山

タイトル文字: 滝平二郎



## ブックスタートクラブ

### ☆幼児向けおはなし会☆

8月28日 ⇒10:00~  
21日 ⇒10:30~

### ☆8月のおはなし会☆

場所: 明野図書館 児童室  
日時: 8月3日(土)と18日(日)  
11:00~11:30



## 図書館祭!

8月24日(土) 10:00~17:00

フィールドワーク

8月25日(日) 10:00~16:00

図書館縁日(視聴覚室)

場所: 明野図書館

申込不要です。

(楽しいイベントです。プレゼントもあるよ!)



### ◆ 図書館からのお知らせ◆

夏休みは視聴覚室を開放して  
学習室にします。ぜひご利用ください。

(図書館は8月のお休みはありません。)

## 音読会



場所: 明野図書館 視聴覚室

日時: 8月6日(火)  
11:00~12:00

気軽に発声練習してみませんか?  
大人向けの音読会です。

もちろんお子さんも参加できますよ☆  
8月のテーマは、『高村光太郎』!



## 子ども向け映画会

### 『おしりたんてい VOL.4』

8月31日(土) 10:30~(80分)

レディーにやさしくスイートポテトが大好きな  
「おしりたんてい」が、助手のブラウンとともに、事件を  
ププッと解決!

場所: 明野図書館・視聴覚室

申込: 申込不要



## つくってかざろう!

日時: 9月1日(日) 11:00~12:00

場所: 明野図書館 視聴覚室

みんなで一緒におりがみを折りましょう☆  
お申込不要。大人の方もぜひどうぞ!





## 文学サークル 思い出のままに

大山榮子 海老澤シマ

平成元年、協和町公民館文学講座が、会員 24 名で古典を読む会としてスタートしました。事務局の秋山智子さんのご協力と、講師に桐原光明先生をお迎えして、月一度の講座が 30 年を経て今も継続しています。

「奥の細道」から、「源氏物語」「枕草子」「万葉集」、樋口一葉の作品「たけくらべ」「にごりえ」「十三夜」「一葉日記」と読み進んでいます。

会員の減少もありますが、来る者拒まず、去る者追わず、の講座で現在は 14 名です。会員が増えれば、緊張感があり、和やかな中にも新しい発見があります。

「奥の細道」は、三年の年月をかけて学習し、講座生で編著し、「おくのほそ道散歩」を発売した事は忘れがたい思い出となっています。

又、日光に立ち寄った松尾芭蕉の足跡を訪ねたのが現地研修のはじまりでした。

あれから、国分寺、比叡山、びわ湖、京都(3 回位)、奈良、宇治 ……。宇治では十月だというのに暑くて、宇治金時の氷でやっと一息をついたり、途中「桐原殿」という建物をみつけて、先生が喜ばれたことなど、それぞれの地での思い出はつきません。

～旅の思い出のひとつ(抜すい) 清涼寺にて～

清涼寺というより、嵯峨の釈迦堂といった方が知られている寺。もとは左大臣源融の山荘、棲霞観あとといわれています。

本堂でいろいろな宝物を拝観していると、ちょうど法事が終わったところで、ご開帳してあった釈迦像を、おがませていただけるとのこと、喜んでご焼香させていただきました。その上、若い僧のお話をきくこともできました。

この釈迦像はインド、中国、日本と三国を渡ってきたもので、今から千十何年前に来日した像とのこと。釈迦 37 歳の時のお姿で、身長もその時の 162 センチとのこと。お姿は梅檀の木で彫られ、像の中には絹の布で作った内臓が入っているとのこと。更にレントゲンで調べたら、額には銀の一仏、目は黒水晶、耳にも水晶、霊魂として水月観音を彫った鏡が納入されているとか。そんな昔に人体の中のようなすがわかっていたのでしょうか。

陽のあたる錬成道場の縁側にすわって、じっと庭をみつめていると、何となく心やすらかになりました。

本堂を出ると右側に嵯峨天皇の宝篋印塔と壇林皇后の層塔があり、続いて源融の墓がひっそりと建っていました。

嵯峨の寺々には、悲運にたおれた人への罪ほろぼし、鎮魂、命ながらえた皇子のかくれ家など、人生終期の魂のよりどころの地だったのでしょうか。壇林寺開基の僧、義空の「四大元空！」の言葉とともに、人生の生き方も考えさせられる地でありました。(平成 12 年 12 月 4 日)

今は、樋口一葉の日記を読んでいます。毎月第一日曜日、午後二時より四時まで、協和公民館で開催しています。一葉は筑西市と深いつながりがあります。資料は講師が用意して下さいます。興味をお持ちの方は是非お出かけください。

おおやま えいこ、えびさわ しま／協和公民館文学サークル 代表